

令和7年度思川流域農村地域雨水流出抑制対策協議会第1回会議開催要領

1 趣旨

県ではこれまで、農地や農業水利施設が有する雨水貯留機能を活かして、水災害リスクを低減する対策の方向性を示した「思川流域農村地域雨水流出抑制対策基本指針」を制定するとともに、流域の関係者が一体となり、対策を推進するための協議会設置などにより、「田んぼダム」の有効性について周知してきた。その結果、現在、県内11市町で約5,060ha、当管内では3,478haで取組が進んでいる。

県内でもトップクラスの取組状況となる当管内において、さらなる取組拡大を図るため、令和7年度第1回会議では、大学生や高校生が田んぼダムに注目し、アンケート調査や模型制作を通して田んぼダムの必要性について学んでいることについて講演等をいただくことで、関係者の機運醸成を図っていく。

2 日時

令和8（2026）年2月10日（火）10:00～11:45

3 場所

とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木市栃木文化会館）小ホール
（栃木県栃木市旭町12-16）

4 内容

- 1) 講演：田んぼダムの取組拡大に向けて
◇宇都宮大学農学部 田村 孝浩 教授
- 2) 研究発表：田んぼダムの模型制作を通して学んだこと
◇栃木農業高等学校 環境デザイン科 3年生
- 3) メーカーによる製品紹介